

第五商業高校 平成31年度 数学A 年間授業計画
教科:(数学)科目:(数学A) 単位数:2単位 対象:(第1学年 A～F組)
教科担当者:(A組:松本)(B組:松本)(C組:松本)(D組:關本)(E組:田辺)(F組:田辺)

使用教科書		新数学A 実教出版		
使用教材		オレンジ版 サブノート 高校数学A 実教出版		
指導内容 【年間授業計画】		科目数学Aの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点方法	予定時数
4月	4章 集合と論証 1節 集合 1 集合と要素	・ベン図を用いて、部分集合や全体集合と補集合について理解することができる。 ・ベン図を用いて、共通分と和集合を理解することができる。 ・空集合を理解することができる。	発表・ノート 問題集・プリント 考查	2
	2 集合の要素の個数	・1で学んだ様々な集合における要素の個数を求めることができる。	発表・ノート 問題集・プリント 考查	2
	3 場合の数	・和の法則について、理解できる。 ・積の法則について、樹形図などを利用しながら理解できる。	発表・ノート 問題集・プリント 考查	1
5月	4 順列	・順列の意味を理解し、順列の数を求めることができる。 ・重複順列や円順列の意味を理解し、具体的な例で数を求めることができる。	発表・ノート 問題集・プリント 考查	3
	演習	中間考査に向けて学習内容を確認し、定着を図る。	発表・ノート 問題集・プリント 考查	1
	5 組合せ	・組合せの意味を理解し、組合せの数を求めることができる。 ・ $nCr = nCr$ が理解できる。 ・いろいろな場合の数の計算に、組合せの考えを利用できる。	発表・ノート 問題集・プリント 考查	3
	2節 確率 1 事象と確率	・試行と事象の意味を理解し、確率の基本的な考え方を理解できる。 ・事象Aの確率P（A）について、その基本性質を理解できる。 ・組合せを利用して事象の確率を求めることができる。	発表・ノート 問題集・プリント 考查	1
6月	2節 確率 1 事象と確率	・試行と事象の意味を理解し、確率の基本的な考え方を理解できる。 ・事象Aの確率P（A）について、その基本性質を理解できる。 ・組合せを利用して事象の確率を求めることができる。	発表・ノート 問題集・プリント 考查	2
	2 確率の基本性質	・和事象の確率、排反事象の確率が求められる。 ・余事象を利用して確率が求められる。	発表・ノート 問題集・プリント 考查	4
	3 独立な試行と確率	・独立な試行の意味を理解し、その確率が求められる。	発表・ノート 問題集・プリント 考查	1
	演習	期末考査に向けて演習を行い、定着を図る。	発表・ノート 問題集・プリント 考查	1
7月	演習	1節の学習内容を確認し、定着を図る。	発表・ノート 問題集・プリント 考查	1
	4 反復試行の確率	・反復試行の意味を理解し、その確率が求められる。	発表・ノート 問題集・プリント 考查	2
9月	5 条件付き確率	・条件つき確率の意味を理解し、その確率が求められる。	発表・ノート 問題集・プリント 考查	2
	2章 整数の性質 1 約数と倍数	・約数と倍数について理解し、約数と倍数を求められる。	発表・ノート 問題集・プリント 考查	2
	2 素因数分解	・素数および素因数分解について理解し、素数かどうかの判定や素因数分解ができる。	発表・ノート 問題集・プリント 考查	2
勉強の仕方 のポイント		予習をして授業に臨む習慣をつける。 ワークシート（問題集）等を使い必ず復習する。 授業で理解できないところはそのままにしないでその日のうちに理解をする習慣をつける。 課題の提出の期限は必ず守る。		

第五商業高校 平成31年度 数学A 年間授業計画
 教科:(数学)科目:(数学A) 単位数:2単位 対象:(第1学年 A～F組)
 教科担当者:(A組:松本)(B組:松本)(C組:松本)(D組:関本)(E組:田辺)(F組:田辺)

使用教科書		新数学A 実教出版			
使用教材		オレンジ版 サブノート 高校数学A 実教出版			
指導内容 【年間授業計画】		科目数学Aの具体的な指導目標 【年間授業計画】		評価の観点方法	予定時数
10月	3 最小公倍数と最大公約数	・最小公倍数と最大公約数について理解し、最小公倍数と最大公約数を求められる。	発表・ノート 問題集・プリント 考查	2	
	4 整数の割り算と商および余り	・整数における割り算の商と余りについて理解し、余りを求めたり証明ができる。	発表・ノート 問題集・プリント 考查	2	
	演習	中間考査に向けて学習内容を確認し、定着を図る。	発表・ノート 問題集・プリント 考查	1	
	2節 ユークリッドの互除法と不定方程式 1 ユークリッドの互除法	・ユークリッドの互除法の仕組みについて、長方形を正方形で敷き詰めることから理解し、互除法を用いて最大公約数を求めることができる。	発表・ノート 問題集・プリント 考查	2	
11月	2 不定方程式	・基本的な2元1次不定方程式を解くことができる。	発表・ノート 問題集・プリント 考查	4	
	3節 整数の性質の活用 1 2進法の仕組み	・2進法と10進法の仕組みについて、それぞれ理解できる。	発表・ノート 問題集・プリント 考查	1	
	2 循環小数	・有限小数と循環小数について理解できる。	発表・ノート 問題集・プリント 考查	1	
	最大公約数と最小公倍数の性質	・2つの整数と、その最小公倍数と最大公約数との関係を理解することができる。	発表・ノート 問題集・プリント 考查	1	
12月	演習	期末考査に向けて演習を行い、定着を図る。	発表・ノート 問題集・プリント 考查	1	
	演習	・2節の学習内容を確認し、定着を図る。	発表・ノート 問題集・プリント 考查	2	
	3章 図形の性質 1節 三角形の性質 1 三角形と線分の比	・三角形と直線によってできる線分の比について理解し、線分の比を求めることができる。	発表・ノート 問題集・プリント 考查	1	
1月	2 三角形の重心・内心・外心	・三角形の重心・内心・外心についての特徴や性質を理解できる。	発表・ノート 問題集・プリント 考查	2	
	3 メネラウスの定理とチェバの定理	・メネラウスの定理とチェバの定理を理解し、線分の比を求めることができる。	発表・ノート 問題集・プリント 考查	2	
	演習	・1節の学習内容を確認し、定着を図る。	発表・ノート 問題集・プリント 考查	1	
2月	2節 円の性質 1 円に内接する四角形	円周角の定理、円に内接する四角形の性質について理解できる。	発表・ノート 問題集・プリント 考查	2	
	2 円の接線と弦のつくる角	円の接線と弦のつくる角の性質について理解できる。	発表・ノート 問題集・プリント 考查	2	
	3 方べきの定理	方べきの定理を理解し、線分の長さを求められる。	発表・ノート 問題集・プリント 考查	1	
	4 2つの円	2つの円の関係について半径を用いて整理できる。	発表・ノート 問題集・プリント 考查	1	
	演習	学年末考査に向けて演習を行い、定着を図る。	発表・ノート 問題集・プリント 考查	1	
3月	演習	1年の総まとめとして数学Aの演習を行い、定着を図る。	発表・ノート 問題集・プリント 考查	4	